



薬剤フォーミュラリ

院内版



薬事委員会

はじめに



フォーミュラリの概要



「フォーミュラリ」とは、有効性や安全性、費用対効果など踏まえ処方できる医薬品を標準化した当院の投与指針です。

標準薬物治療の推進、医療費の抑制および病院や診療所、保険薬局との連携による地域医療の質の向上を目的に当院が定めるフォーミュラリを公開します。

なお、本資料を企業のプロモーションなどに利用しないで下さい。



SGLT2阻害薬



効能・効果

推奨薬

慢性心不全

エンパグリフロジン

eGFR20mL/min/1.73m²未満の場合、慎重投与

慢性腎臓病

エンパグリフロジン

eGFR20mL/min/1.73m²未満の場合、慎重投与

医薬品名	規格	薬価	標準用量	コスト
ジャディアンス錠	10mg	188.90	1錠	188.90



HMG-CoA還元酵素阻害薬



第一選択

ロスバスタチン

- ・クレアチニンクリアランス30未満の時には1日最大量は5mg
- ・承認用量が幅広く用量調整がしやすい

第二選択

アトルバスタチン

ピタバスタチン

薬品名			LDL低下作用					
			Low (20-30%)		Moderate (31-39%)		High (≥40%)	
ロスバスタチン	ストロング スタチン	水溶性			2.5mg	5mg	10mg	20mg
アトルバスタチン		脂溶性			10mg	20mg	40mg	
ピタバスタチン		脂溶性		1mg	2mg	4mg		
プラバスタチン	スタンダード スタチン	水溶性	10mg	20mg				



直接作用型経口抗凝固薬

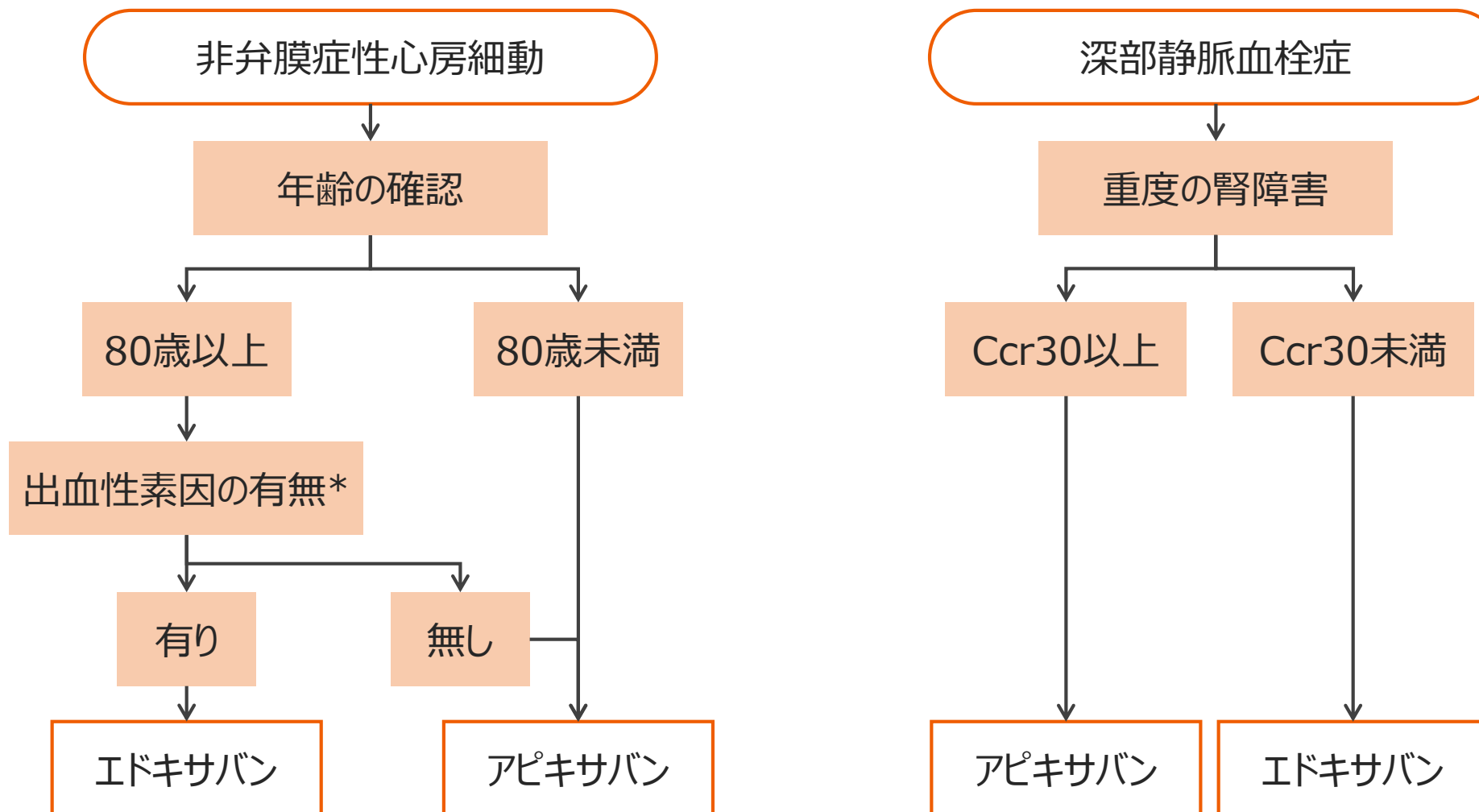


効能・効果	推奨薬	オプション
非弁膜症性 心房細動	アピキサバン エドキサバン 以下の場合に使用を考慮 ・嚥下困難な場合 ・服用時点を1回にすることが望ましい場合	エドキサバン 80歳以上を目安とし、以下のいずれかに該当 ・頭蓋内、眼内、消化管等で出血の既往 ・体重45kg以下 ・ $15 \leq \text{推定Ccr} < 30$ ・NSAIDsの常用 ・抗血小板剤の使用
深部静脈血栓症		-
下肢整形外科 手術施行患者	エドキサバン	-

医薬品名	規格	薬価	標準用量	コスト	医薬品名	規格	薬価	標準用量	コスト
エリキュース錠	5mg	207.20	2錠	414.00	リクシアナOD錠	60mg	416.80	1錠	416.80



直接作用型経口抗凝固薬



※出血性素因：頭蓋内・眼内・消化管等重要器官での出血の既往、低体重(45kg以下)、推定Ccr：15～30、NSAIDsの常用、抗血小板剤の使用



降圧薬



<積極的な適応がない場合の高血圧の進め方>

STEP
1

Ca拮抗薬



STEP
2

Ca拮抗薬 + (ARB or ACE阻害薬)



STEP
3

Ca拮抗薬 + (ARB or ACE阻害薬)
+ サイアザイド系利尿薬

有効性・安全性、経済性を考慮しアムロジピンを推奨

降圧薬薬効群の中で最も降圧力があり、経済性も考慮し、「Ca拮抗薬」を第一選択とする。

薬効

第一選択

CCB

アムロジピン

ARB or ACE阻害薬を追加

降圧効果と安全性かつ経済性を考慮し、以下から選択

薬効

第一選択

第二選択

ARB

オルメサルタン

ロサルタン

イルベサルタン

アジルサルタン

入院時に第一選択以外のARBが処方されている場合は、病棟薬剤師がARB換算表を参照し、オルメサルタンに変更するよう促し、処方医は検討し処方変更を実施する。



降圧薬



<ARBの力価換算表>

医薬品	1日用量			
バルサルタン	40mg	80mg	160mg	
ロサルタン	25mg	50mg	100mg	
カンデサルタン	4mg	8mg	16mg	
オルメサルタン	20mg	20mg	20-40mg	40mg
テルミサルタン	20mg	40mg	40-80mg	
イルベサルタン	50mg	150mg	200mg	
アジルサルタン	20mg	20mg	20mg	20-40mg

5

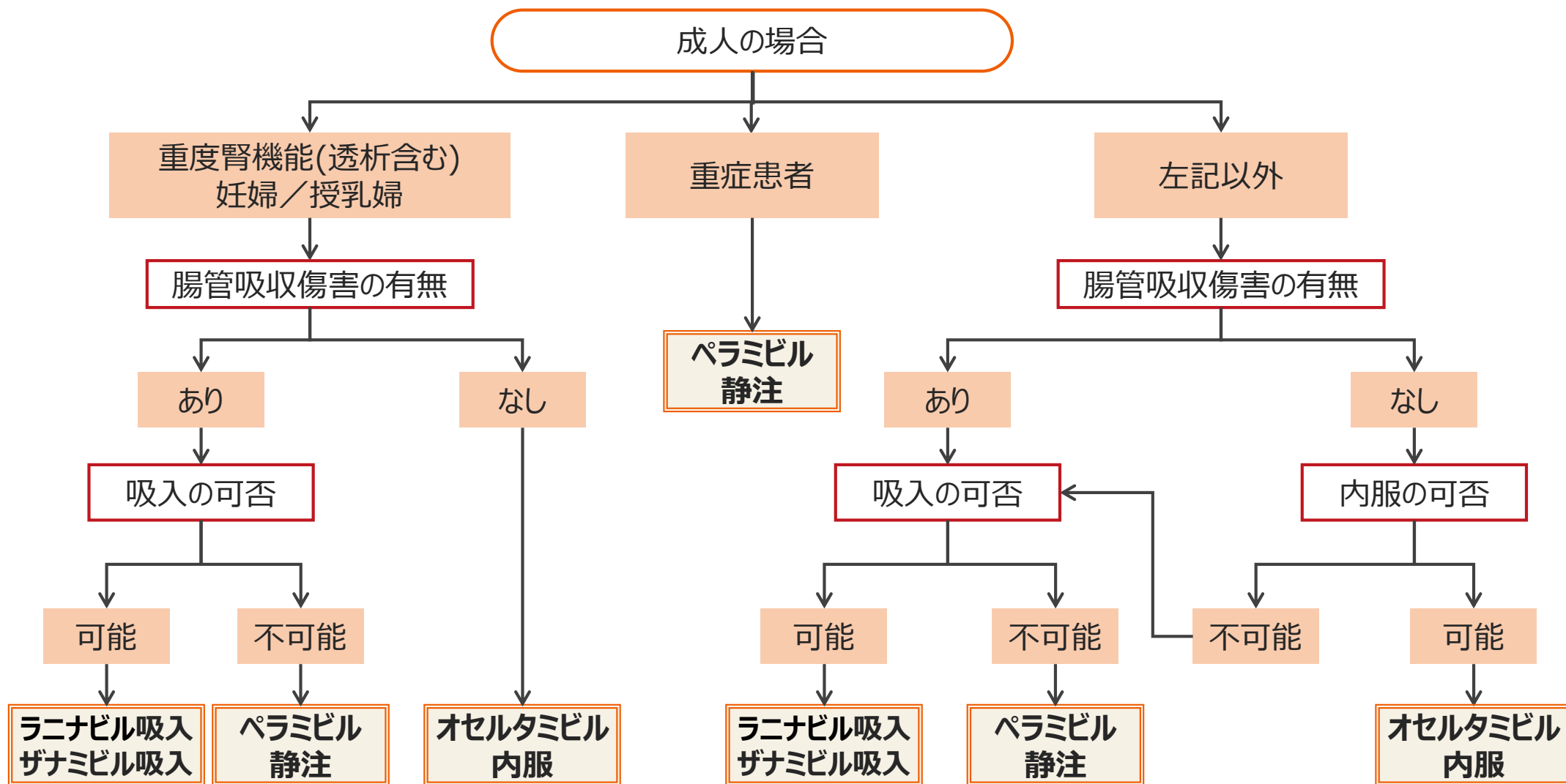


抗インフルエンザウイルス薬



区分	第一選択	第二選択	第三選択
成人 妊婦・授乳婦	オセルタミビル 1日2回 1回75mg	ラニナビル 単回吸入 ザナミビル 5日間吸入	ペラミビル 1回300mg
新生児・乳児 (1歳未満)	オセルタミビル 1日2回 1回3mg/kg	-	-
幼児・小児 (1歳以上)	オセルタミビル 1日2回 1回2mg/kg	ラニナビル 単回吸入 ザナミビル 5日間吸入	ペラミビル 1回10mg/kg(600mgまで)

医薬品名	規格	薬価	標準用量	1治療コスト	医薬品名	規格	薬価	標準用量	1治療コスト
オセルタミビルカプセル	75mg	111.60	2Cp	1,116.00	リレンザ	5mg	113.60	4個	2,272.00
イナビル吸入粉末剤	20mg	2,098.10	2Kit	4,196.20	ラピアクタ点滴静注液	300mg	6,197.00	1袋	6,197.00





尿酸生成抑制薬



第一選択

フェブキソスタット

・「がん化学療法に伴う高尿酸血症」の適応有り

第二選択

アロプリノール

腎機能低下時の用量調節

- ・通常 : 200～300mg/日
- ・ $30 \leq \text{Ccr} < 50$: 100mg/日
- ・ $\text{Ccr} < 30$: 50mg/日

-

医薬品名	規格	薬価	標準用量	コスト
フェブキソスタットOD錠	20mg	10.40	2錠	20.80
アロプリノール錠	100mg	10.40	2錠	20.80



带状疱疹治療薬



第一選択

バラシクロビル

- ・ 腎機能障害患者では投与量・投与間隔を調整する
- ・ 腎障害予防の観点から特に脱水を起こしやすい患者では水分摂取励行を指導する

第二選択

アメナビル

- ・ 服薬アドヒアランス不良な患者への使用を考慮する

带状疱疹に対するクレアチニンクリアランス毎の投与量

医薬品名	>50	49-30	29-10	<10
バラシクロビル	1回1000mg 1日3回	1回1000mg 1日2回	1回1000mg 1日1回	1回500mg 1日1回
アメナビル	投与量の調節不要			

医薬品名	規格	薬価	標準用量	1治療コスト
バラシクロビル錠	500mg	67.50	6錠・7日	2,835.00円

医薬品名	規格	薬価	標準用量	1治療コスト
アメナリーフ錠	200mg	1,148.70	2錠・7日	16,081.80円